

生命の歌声が聞こえる水と緑の薫る川

第 7 期野川流域連絡会 生きものの分科会活動記録

生きもの観察会
野川ルールの改訂について
生きものガイドブックの改訂について

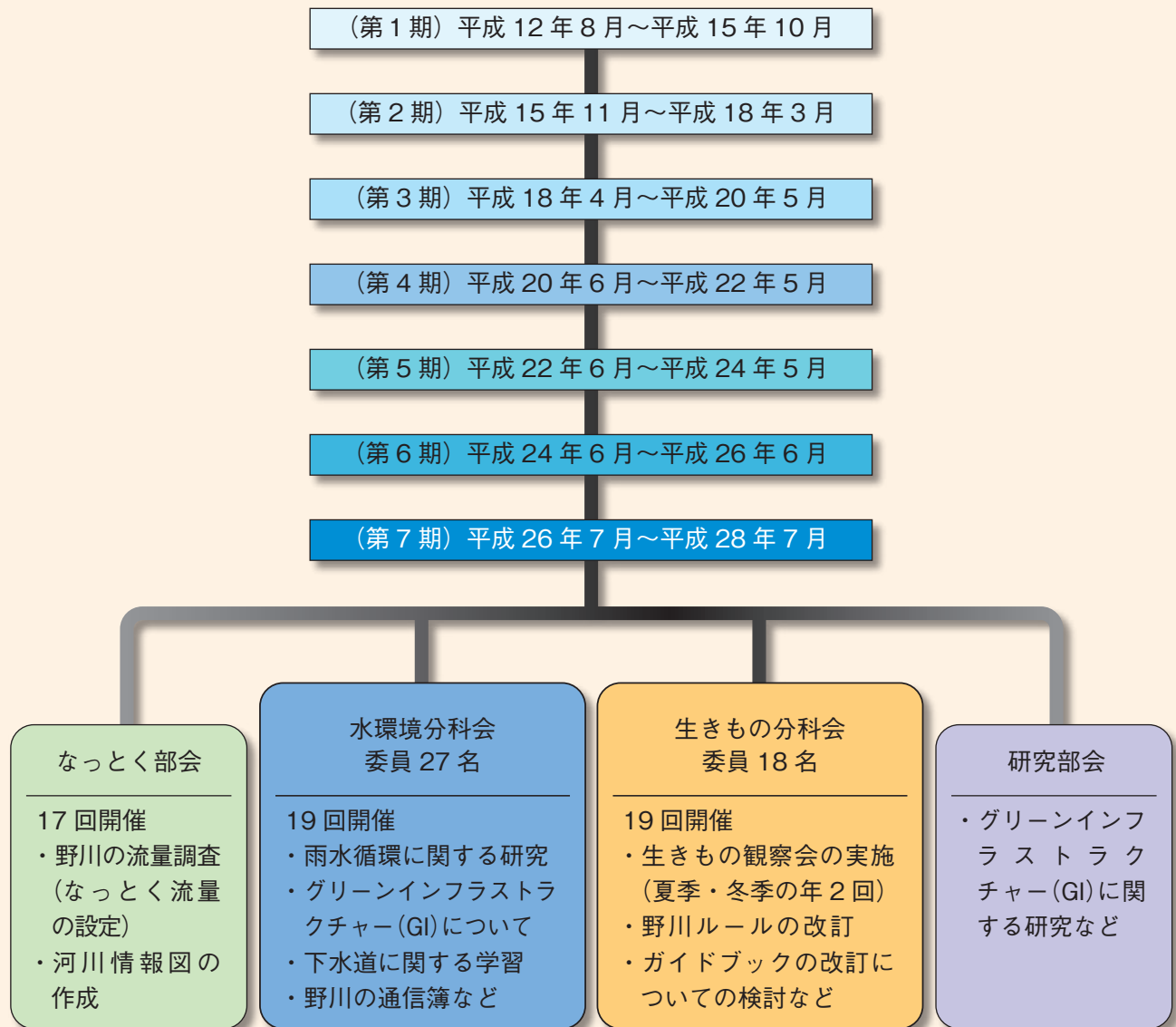


平成 28 年 7 月
野川流域連絡会

野川流域連絡会について

「野川流域連絡会」は、野川が“生命の歌声が聞こえる水と緑の薫る川”となることをめざして、流域住民、野川に関心を持って活動している団体の代表者、都及び流域自治体の職員等が、情報や意見の交換、提案等を行うことを目的に、平成 12 年 8 月に設置されています。

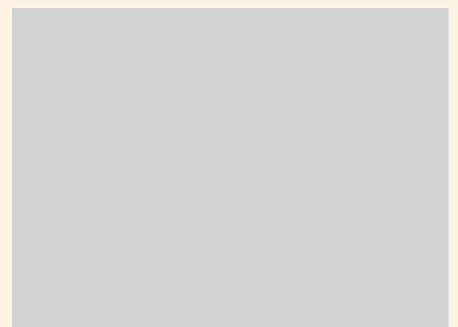
平成 26 年 6 月から第 7 期目がスタートし、現在、都民委員 16 名・団体代表委員 9 名、行政委員 20 名、計 45 名が、水環境分科会と生き物分科会を中心に活動しています。第 7 期は各分科会の活動報告などが行われる全体会が 3 回開催されました。



第 7 期第 1 回全体会のようす



第 7 期第 2 回全体会のようす



第 7 期第 3 回全体会のようす

生きものの分科会について

生きものの分科会の活動の目的は大きく二つあり、一つは野川ルールについてです。これは1期、2期生で作った野川ルールを普及するということと、改善していくということです。もう一つは、冬、夏2回の生きもの観察会を開催を通し、水生生物を継続して観察し、子どもたちを集めて子どもたちに野川の貴重ないいところを楽しみながら理解してもらうという目的を持っています。

第7期は、分科会を12回開催し、生きもの観察会開催に向けての準備等についてと野川のルールの改訂、生きものガイドブックの改訂に向けての方針の検討を行いました。

生きもの観察会は、夏季に2回、冬季に2回開催し、採取した生きもののデータを蓄積しています。野川ルールは、改訂版を作成し、生きものガイドブックは、改訂方針を決定しました。

また、水環境分科会と合同で現地視察会を2回とグリーンインフラについての意見交換会を1回開催しました。



第7期第7回生きもの分科会のようす

第7期生きもの分科会の活動状況

開催年月日	活動名称	活動内容
平成26年8月4日	第1回生きもの分科会	夏季・生きもの観察会の開催、第7期活動方針について
平成26年8月24日	夏季「野川・生きもの観察会」	ほたる川の補修、生きもの観察
平成26年9月29日	第2回生きもの分科会	夏季・生きもの観察会の報告と今後、草刈り調査の今後、天神橋下流の草刈り、野川生きものガイドブック改訂スケジュールについて
平成26年10月27日	第3回生きもの分科会	第7期行程、野川ルールの改訂、野川生きものガイドブックの改訂、冬季・生き物観察会の開催
平成26年12月1日	第4回生きもの分科会	第7期全体スケジュールについて、「冬季・生きもの観察会」について、野川ルールの改訂について
平成27年1月18日	冬季「野川・生きもの観察会」	ほたる川の補修、生きもの観察
平成27年1月28日	第1回現地視察会（水環境分科会と合同開催）	視察区間：鞍尾根橋～野川第一・第二調節池から大沢調節池～入間川分水路～中野田橋
平成27年2月27日	第5回生きもの分科会	冬季・生きもの観察会の報告、野川ルールの改訂について、第1回現地視察会の報告
平成27年4月20日	第6回生きもの分科会	夏季・生きもの観察会の検討、野川ルール改定案
平成27年7月13日	第7回生きもの分科会	観察会打合せ・野川ルール他
平成27年7月24日	第2回現地視察会（水環境分科会と合同開催）	視察区間：世田谷～深大寺～武蔵野公園から野川公園～国分寺（流域内のグリーンインフラ資産）
平成27年8月2日	夏季「野川・生きもの観察会」	ほたる川の補修、生きもの観察
平成27年10月5日	第8回生きもの分科会	観察会報告、ガイドブック改訂
平成27年12月7日	第9回生きもの分科会	観察会打合せ・ガイドB作業方針
平成27年12月21日	第10回生きもの分科会（水環境分科会と合同開催）	グリーンインフラについての意見交換会
平成28年1月17日	冬季「野川・生きもの観察会」	ほたる川の補修、生きもの観察
平成28年2月22日	第11回生きもの分科会	観察会の報告、ガイドブック改訂
平成28年4月25日	第12回生きもの分科会	ガイドブック改訂、第3回全体会について

野川の生きものの観察会について

みんなで作った「ほたる川」には、多くの生きものがすんでいます。毎年夏と冬、定期的に、ほたる川、野川の2か所で生きもの観察会を開催し、そこで採取した生きものの記録をとっています。また、観察会の対象ではありませんが下流の「ひょうたん川」でも同時期に委員が観察しています。

この観察会には、市民のみなさんも参加し、すでに10年も続いています。観察会では、生きもの観察だけでなく、野川ルールの説明や、ほたる川の補修作業も行っています。

開催年月日	参加人数		
	一般	委員	合計
平成18年8月12日	3	18	21
平成19年1月21日	15	13	28
平成19年8月5日	42	9	51
平成20年1月20日	14	9	23
平成20年8月3日	30	11	41
平成21年1月18日	17	10	27
平成21年8月9日	29	9	38
平成22年1月24日	10	8	18
平成22年8月8日	28	18	46
平成23年1月23日	12	16	28
平成23年8月7日	31	17	48
平成24年1月22日	雨天のため中止		
平成24年8月5日	42	18	60
平成25年1月20日	26	13	39
平成25年8月5日	64	17	81
平成26年1月19日	37	18	55
平成26年8月24日	10	16	26
平成27年1月18日	20	13	33
平成27年8月2日	26	23	49
平成28年1月17日	18	8	26



野川ルールの説明 (H28.1.17)



ほたる川補修 (H28.1.17)



ほたる川補修前の準備運動 (H28.1.17)



水生生物の採取 (H28.1.17)



採取した生物の観察 (H28.1.17)

採取した生物は、川ごとに環境調査票に記入します (H28.1.17)

[illegible]

ひょうたん川 環境調査票

調査年月日：平成28年1月17日
調査者氏名：平井 正風

平面図

環境の状況

項目	植生、水量、流れ	備考
池、小川の周辺状況	草刈りが行われた様子。	
池の状況	落ち葉が多く落ちている。	
ひょうたん川の状況	水量は比較的多い。	湧水量 300ml/sec

確認生物

生物名	個体数	状況	備考
ミナミヌマエビ	29		
ガガンボ科	1		
オナシカワゲラ	7		
種類数計	3		
個体数計	37		

備考

採取して確認した生物は、川ごとにデータをまとめています (H28.1.17)

分類 (動物門)	種 名	水質汚 濁等級	ほたる川																観察場所および ひょうたん川																	
			H18		H19		H20		H21		H22		H23		H24		H25		H26		H27		H28		H18		H19		H20		H21		H22		H23	
			1/11	8/12	1/21	8/5	11/27	1/20	8/3	1/18	8/9	1/24	8/8	1/23	8/7	2/27	8/6	1/20	8/4	1/19	8/24	1/18	8/2	1/17	1/11	8/12	1/21	8/5	1/20	8/3	1/18				8/7	2
魚類(脊椎動物)	ギンナギ	—																																		
	タイカワ	—																																		
	モツゴ	—			○																	○														
	タモロコ	—																																		
	ドジョウ	—	○	○	○	○	○	○																												
	ホトケドジョウ	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○													
	シマドジョウ	—																																		
	メダカ	—	○	○	○	○		○																												
	ヒメダカ	—																																		
	スミウキゴリ	—							○																											
	キンギョ	—																																		
	グッピー	—																																		
	ナマス	—																																		
	コイ	—																																		
フナ	—																																			
両生類(脊椎動物)	ウシガエル	—									○																									
爬虫類(脊椎動物)	スッポン	—																																		
甲殻類(節足動物)	ミズムシ	α Ⅲ	○																																	
	ヨコエビ類の一種	α Ⅲ	○																																	
	ヒナミヌマエビ	α Ⅲ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
	スズメエビ	β Ⅲ																																	○	
	アメリカザリガニ	α Ⅲ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○		
	サワガニ	OS																																		
昆虫類 (節足動物)	カゲロウ目	β Ⅲ					○																													
		OS						○																												
		OS						○																												
	トンボ目	(β Ⅲ)						○																												
		—																																		
		クロスジギンヤンマ(ヤゴ)	—																																	
		ギンヤンマ(ヤゴ)	—																																	
		コオニヤンマ(ヤゴ)	β Ⅲ			○																														
		コオニヤンマ(成体)	(β Ⅲ)																																	
		オニヤンマ(ヤゴ)	β Ⅲ			○	○																													
	シオカサトンボ(ヤゴ)	—																																		
	オナガサナエ(ヤゴ)	—																																		
カワゲラ目	オナシカワゲラ属の一種	OS			○			○																		○										

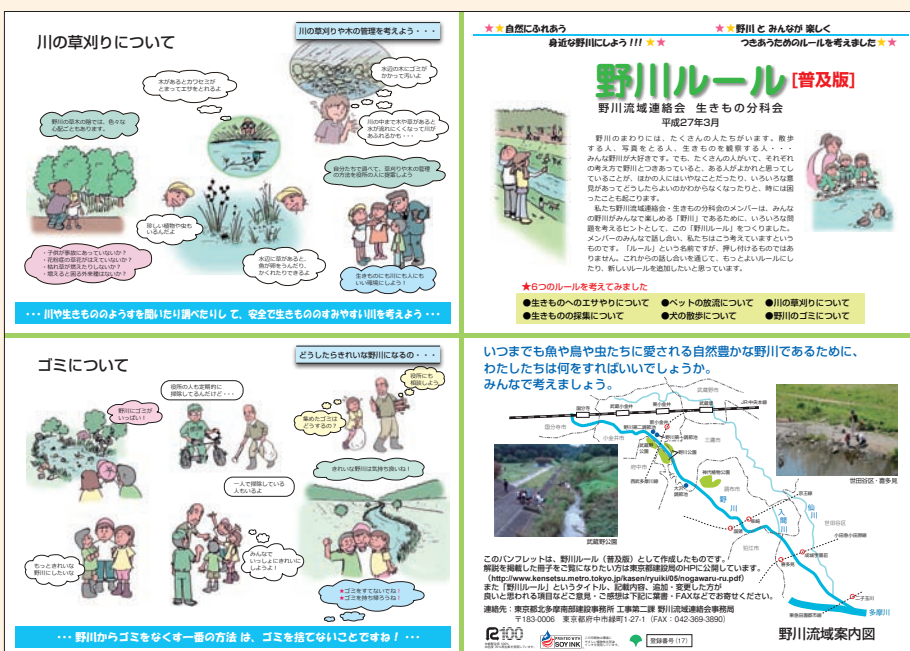
野川ルールの改訂について

平成 19 年 3 月に発行された野川ルールですが、発行されてから 10 年近く経過し、社会情勢の変化からも見直しの必要が出てきました。

今回は、野川ルールの改訂について議論を行い、改訂を行いました。改訂箇所主な点は、生きもの観察会のアンケートでも「こどもが読めるようにルビを振って欲しい」ということがあります。野川ルールの内容はルビを振ったから読めて内容が理解できるというようなものではなく、親がこどもに読み聞かせて、一緒に野川について考えようという主旨なため、ルビは降らずに、その意味を理解してもらおうということで、文章を追加しました。また、野川の一斉清掃については、なかなか実現が難しい状況があるため、その表記を削除しました。



野川ルール改訂版



野川ルール改訂版
(普及版)

生きものガイドブックの改訂について

野川の生きものガイドブックは、平成16年に初版が発行され、平成19年に増刷されています。当初は野川に生息・生育する生きものがどのように変化するかということを継続的に記録できることを考慮して、野川の指標的な生きものを掲載してきました。

しかし委員で話し合った結果、「もっと図鑑的に、野川を訪れた人が手にし、目についた植物が何か？」などが分かるようにしたいということになりました。また、今まで昆虫については水生昆虫の紹介しかありませんでしたが、野川を訪れた方が目にする機会の多いチョウやバッタ、トンボも掲載することになりました。

ヶガイドブックに掲載する種は、野川でよく見られる生きものということで、現在のガイドブックの掲載種から変更を検討しました。今期は、掲載種のリストアップを終え、来期から写真の準備や編集作業を進める予定です。



ガイドブック掲載リスト

植物	水生動物	鳥類	昆虫
・スギナ ・カナムグラ ・オオイヌタデ ・ ・ ・ ・ ・	・タモロコ ・オイカワ ・メダカ ・ウキゴリ ・カワニナ ・ミナミヌマエビ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・コサギ ・アオサギ ・カワセミ ・ ・ ・ ・ ・	・オニヤンマ ・シオカラトンボ ・ハグロトンボ ・ナミアゲハ ・ショウジョウバタ ・ ・ ・ ・ ・ ・

現地視察会

現地視察会は、水環境分科会と共同で2回開催しました。第1回は、平成27年1月に、河川整備の状況を視察するため上流の鞍尾根橋から、自然再生事業を行っている野川第一・第二調節池、大沢調節池、入間川分水路、河床工事を行っている世田谷の雁追橋まで視察しました。

第2回は、平成27年7月に野川のグリーンインフラの資産を視察するため、世田谷区成城地区から、深大寺、武蔵野公園・野川公園から国分寺の姿務の池、国分寺跡、真姿の池に行きました。

今後の野川河川整備を考える上で、両分科会の意思の疎通も図れ、2回とも有意義な視察会となりました。

第1回現地視察会のようす



第2回現地視察会のようす



自然再生事業で整備された田んぼ



みつ池



入間川分水路の流入口



真姿の池

問合せ先

東京都建設局 北多摩南部建設事務所 工事第二課 工務係

住所 〒 183-0006 東京都府中市緑町 1-27-1

電話 042-330-1845 FAX 042-369-3890